

小児看護学実習（2単位 90時間）

実習目的

小児期にある対象とその家族を理解し、成長・発達段階、健康段階に応じた看護が実践できる基礎的能力を養う。

実習構成

実習名	単位数	対象学年	実習施設	
小児看護学実習	2単位 90時間	3年次	静岡済生会総合病院	1.3単位 60時間
			静岡済生会療育センター令和	0.4単位 16時間
			こども園・保育園 静岡市立登呂こども園 静岡市立富士見台こども園 なでしこ保育園	0.3単位 14時間

1. 実習目標

1) 実習目標

- （1）様々な健康障害や発達段階にある小児とその家族を理解し、対象に必要な看護を考える。
- （2）障害を持ちながら生活する小児の療育活動の実際を知り、看護の役割が解る。
- （3）小児各期の成長発達の特徴を理解し、成長発達を促す養育が解る。

2) 行動目標

【病棟】

- （1）患児の発達段階における特徴を身体的、精神的、社会的な面から述べる。
- （2）患児の病理的状态がわかり、治療・処置・検査の目的を述べる。
- （3）患児とその家族の理解に必要な情報収集をする。
- （4）入院が患児と家族にどのような影響を及ぼしているか述べる。
- （5）患児とその家族の看護問題を挙げる。
- （6）患児とその家族に必要な援助を考え実施する。
- （7）患児とその家族に実施した援助を評価する。

【NICU】

- （1）ハイリスク新生児の看護の実際を述べる。

【外来】

- （1）乳児健診の目的・内容及び看護の役割について述べる。

【療育センター】

- （1）障がい児の自立に向けた療育活動を述べる。
- （2）チームアプローチの重要性和看護の役割について述べる。

【こども園・保育園】

- (1) 健康児を観察し、小児の成長発達の特徴を述べる。
- (2) 健康児の発達段階に応じた養育の必要性を述べる。

2. 実習方法

【病棟】

- 1) 実習初日に病棟オリエンテーションを受ける。
- 2) 1～2名の患児を受持ち看護過程の展開を行う。
- 3) 小児看護に必要な技術を受持ち患者以外でも積極的に体験または見学する。
- 4) 実習2～3日目に中間カンファレンスを行う。
- 5) 実習終了日に終了カンファレンスを行う。

【NICU】

- 1) 看護師の指導のもと見学または体験学習を行う。

【外来】

- 1) 午前中は学内で事前学習を行う。
- 2) 乳児健診対象者を1～2人受持ち、健診の内容にそって見学実習する。

【療育センター】

- 1) 施設オリエンテーションは事前に3年次全員で受ける。
- 2) 児童を1名受持ち、施設の日課にそって実習する。
- 3) 実習終了日、カンファレンスを行う。

【こども園・保育園】

- 1) こども園・保育園で施設の概要や留意点についてオリエンテーションを受ける。
- 2) 配置されたクラスに入り、こども園・保育園の日課にそって実習する。
- 3) 実習終了日、反省会を行う。

【学内学習】

- 1) 病棟実習のまとめとして「病気の子どもへのプレパレーション」を課題とし実施する。

【実習終了後のレポート】

- 1) テーマ：『小児看護学実習で学んだこと』
- 2) サブテーマをつける
- 3) A4サイズ横書き 400字詰め原稿用紙で5枚程度にまとめる。

3. 留意点

- 1) 事前に担当教員よりオリエンテーションを受ける。
- 2) 実習開始前に検便検査を行い、感染症の有無を確認する。
- 3) 感染症に罹患した場合は、実習の継続について教員と指導者に相談し決定する。
- 4) こども園・保育園への移動は各自で行う。その際、公共交通機関以外の手段（バイク・自転車）を利用する学生は、必ず「使用届け」を事前に学校に提出する。
- 5) 反省会やカンファレンスは、学習体験の共有と疑問の解決を図る。
- 6) 実習終了後に実習での学びをレポートにまとめる。